

次の課題のどちらか一つを選んで行ってください

この課題も評価の対象にします。得意な方・頑張れる方を選んでやってください。

### 課題 1

自分の手をデッサンしよう（配布した紙）

- ① 「表現と鑑賞」のP2、3をよく見る。別紙で練習をする。
- ② 手の形を考えましょう。（平らな面はデッサンしにくいので、立体感の出る形にしましょう）物をもってOK
- ③ 光の表現を意識しながら描く角度をきめましょう（手の甲も表現が難しいので、指が見える角度で立体感が出る向きで描きましょう）
- ④ 他の形をとらえて鉛筆で描きましょう（実物大かそれより少し大きめに描く）
- ⑤ 手のどの部分がどちらの方向を向いているか意識して、明るさの違いを鉛筆で描き込んでいきましょう。

今回は練習のため、こすらずに描いてください。

#### <ポイント>

※手には表情があると言われていています。ただ描くのではなく、どんな手を表現するのか考えて描きましょう。（例）何かをつかもうとしている手 怒りのこもった手 など

※立体感を出すには明暗をしっかり出すことです。光のあたっているところ、当たっていないところ、中間のところをしっかり意識して描きましょう。必ず3段階以上の明暗が出るようにしましょう。

※明るいからと全く色を付けないと、存在感がなくなります。最も明るい一か所を除き、必ず色をつけましょう。薄く色を付けるには硬めの鉛筆がやりやすいです。

### 課題2

福祉の日のデザイン画にチャレンジしよう（配布された紙に）

- ① 5月7日に配布された「デザイン画募集」の紙をよく読む
- ② 「福祉」とは何かを調べましょう。
- ③ どんな内容を描けばいいか考えて描きましょう（明るいイメージの物がいいです）
- ④ 必ず色を付けてください（絵の具・色鉛筆・ペン）クレヨン×

#### <ポイント>

※福祉の意味や意義を知らないと的確な内容が書けないので、必ず調べてください。

※出されたものは出品予定です。（返却されません）作品の裏面に必要事項を記入してください。

※出品がダメな人は裏面に大きく「出品しないでください」と書いてください。

## 鑑賞 岡本太郎「明日の神話」

## Step 1

岡本太郎「明日の神話」を鑑賞しよう（教科書表紙）

- ① 岡本太郎さんの「明日の神話」（教科書表紙）見て興味を惹かれるところ、気づいたこと気になったことをたくさん書きだしましょう。
- ② 岡本太郎さんの生きた時代（1911～96）はどんな時代だったか、考えてみましょう。
- ③ 教科書裏面の解説を読みましょう。

## Step 2

鑑賞プリントを書く（配布されたものA5）

提出です

- ① 作品を見て、具体的に何が表現され、何を伝えようとしているのか自分なりに考えて書きましょう。（写真が小さいですが、頑張って見て下さい。実際にはとても大きな作品です）

<やってみると、より鑑賞が深まります>

- ① 岡本太郎さんの他の作品もどんなものがあるか調べてみよう
- ② 教科書 P99（見開き）のピカソの「ゲルニカ」も合わせて鑑賞してみよう。